



Tentokuji News Letter Biruzanho 毘盧山報

発行所
宗教法人 曹洞宗 天徳寺
編集責任者 細川正善
福島県耶麻郡猪苗代町樋ノ口
TEL 0242-64-2205
FAX 0242-64-3533

令和六年（2024年）甲辰（きのえ）年。十二支の五番目であり千支の動物は龍にあたります。十二支の中で唯一架空の動物。中国では龍は麒麟（キリン）鳳凰（ほうおう）霊亀（れいきい）想像上のカメ）とならんで、四種の霊獣の一つで、四種の中でも最も力がある動物とされている。龍は、変幻自在、驚異的な能力を持つ架空の動物ではありませんが、強いだけでなく品格も備えている動物です。首の下には「宝珠」を持っており、何でもかたえてくれる珠を携えております。龍はまた、仏教の守護神でも有ります。當山の本堂の仏様（須弥壇）の前の四本の柱に巻かれて絵柄は昇り龍、下り龍です。龍は天高く舞い上がる。本年は龍にあたり、所願成就 福寿無量 万福多幸を祝祷申し上げます。しかし、時の流れと共に移ろいゆく（無常）日々、油断すること無く日々丁寧にしつかりと歩んでいきたいものです。平穩で

迎春 住職年頭挨拶

目次	
住職年頭挨拶 初詣「誓願」	1
理事長新年御挨拶 特志寄進者・寄進者 写経	2
行事報告 事業報告 行事予定 檀中年始廻り日程	3
お寺豆知識 「お寺を活かせ」 「会館使用」	4

念申し上げます。初詣では、仏前の前で参拝者は必ず何かの願いをします。「願い」のことを仏教では「願（がん）」といいます。「願をかける」「願を起す」とか、「仕事が出来ていきますように」とか、「今年も健康でありますように」とか、具体的な願い事です。そのような願いを仏様の力で叶えていただくという思い、願をかけるという事は、何れも仏様にお願いをすることです。初詣は、初心に還り願いが叶うよう決めた事を実行するまたとない機会。ひと口に「願い」と申しますが、願いは人間だけがかけるものではありません。誓願とは、仏様が必ず成し遂げようとして誓う願いです。苦しむ人々を救う願いです。初詣は菩提寺に参拝。仏様に感謝。そこで願いは現実のものになるのです。（開山堂出版「辰年に願う」より転載）☆「四弘誓願（しごせいがん）」お唱えしましょう。衆生無辺誓願度（衆生を救おうとする願い）煩惱無尽誓願断（煩惱を断とうとする願い）法門無尽誓願学（すべての教えを学ぼうとする願い）仏道無上誓願成（最高の悟りに達しようとする願い）

初詣 「誓願」

多謝 昨年、六月五日當山二十世寺族細川道子 行年九十二歳の天寿を全う致しました。當山に嫁ぎ七十二年先住、先住、現住を支え不離叢林（お寺を離れず）法灯護持に務めて頂きました。未だに、来る人くる人が口を揃えて言われるのが、玄関に入ると奥から元氣な声で「ハイ！さあ！上がらんシヨ！お茶飲んでがせ！母と話をしたいと元氣をもらった。と話されま



□ お寺豆知識 「お寺を活かせ」 会館・本堂で法事・通夜葬儀を

前項に掲載致しました渡り廊下落慶記事で、本堂・庫裡と会館が一体となり大変使い勝手が良くなり檀頭さんをはじめ皆様から大変喜ばれております。今後、会議はもちろん、写経会、イベント、行事の準備賄い等も幅広く利用でき、皆様方の集いの場として開放して参ります。中でも、檀家の皆様よりお寺での法事や御齋（おとき）後席など出来ないかとの相談が近年多くあり、それらの方々の要望に応えるべく準備を致して参りました。特に、葬儀に関し社会事情、家庭事情の変化により葬儀社で執り行われる事がほとんどであり、自宅から送られることは希となりました。こうした社会情勢の変化と共に冠婚葬祭等のあり方も簡略、希薄化している現状があります。これらの変化に、お寺でも葬儀のあり方に対応していかなくてはならない課題であります。そこで、仏様の元、厳肅な中に親族や親しい方々と共に故人の冥福成仏を祈り葬送・告別式を菩提寺にて厳修ご利用いただけるようご案内致します。



- 【会館・本堂を使うにはどうしたらいいの・・・！！】
- 01 連絡 自宅や病院から、まずは電話ください。
 - 02 お迎え・ご遺体安置（葬儀社に搬送依頼）すぐに指定の場所へお迎えに行き檀信徒会館などに搬送し、ご安置させていただきます。枕飾りを設置し、ご住職に枕経をいただきます。
 - 03 打ち合わせ 葬儀の開場・日程を決定します。＊会葬者数を想定した上での返礼品や棺桶、後飾り（自宅）見積詳細を葬儀社と打ち合わせ下さい。供物、生花を除き飾りはいりません。
 - 04 納棺 故人様をお送りするためにご親族の皆さんのもとお手伝いをさせていただきます。
 - 05 通夜 故人様と向き合う最後の夜となります。別れを惜しんで過ごします。（宿泊の方は貸し布団を依頼して下さい。）
 - 06 葬儀（本堂に移動）住職の授戒・読経・ご親族の皆さんのお焼香を行います。
 - 07 出棺 故人様と最後のお別れ、出棺となります。その後、火葬場へ向かいます。
 - 08 火葬・拾骨（お骨拾い）火葬炉へ棺を納め、茶毘に付します。
※火葬にかかる時間はおよそ1時間30分～2時間です。
火葬が終わりましたら、ご遺骨を拾って壺に納めます。
※拾骨後、ご自宅や寺院などへ戻り、ご本尊の近くにご遺骨を安置して、ご住職の読経いただきます。
※火葬後自宅に戻る場合は、寺参り・三日七日法要火葬中に法要を執り行う。
※後飾り壇を設置し、ご遺骨・白木位牌・遺影写真を四十九日法要までの間供養する。
※会館、本堂での通夜葬儀を執り行う場合葬儀社に依頼するのは
①搬送②棺+布団③装束④白木位牌2本⑤七本塔婆⑥祭壇用生花のみにて執行できます。
その他、自宅での祭壇（後飾り）返礼品等は業者と相談して下さい。

1. 「天徳寺檀信徒会館」の主な設備：①須弥壇（仏間）②会議室（宿泊可）③台所④トイレ⑤浴室
2. 「使用料」（一）法事設齋（供養の席）5千円（30名まで）
（二）一泊2万円（通夜等宿泊のみ＊但し布団は貸し布団使用＝料金個人負担）
3. 本堂での葬儀（本堂内50名まで）5万円（受付等は施主にて手配）
4. 本堂での法事（50名まで）1万円、位牌堂（15名）5千円
5. その他 ＊準備、片付けシルバー依頼検討中



行事報告

猪苗代町仏教会 寺院住職・総代会

9月10日「猪苗代町寺院住職総代会」は安穩寺当番のもと、猪苗代聖苑火葬場にての遺灰供養を10ヶ寺の住職によって開催された。尚、通常であればその後、当番寺院於いて総会・懇親会が開催されますが、今回は書面決議で了承されました。



感謝祭壇頭会

11月23日感謝祭執り行い、永年勤続20年の功労を讃え秋元高橋光秋殿に褒賞と記念品が住職より授与された。天徳寺を代表し深く感謝の意を表します。



成道会内献・羅漢講忘年会

12月8日恒例の成道会、羅漢講は4年ぶりに執り行い、成道会終了後、会館にて10名の出席者の中忘年会を開催し時を忘れ懇談致しました。



事業報告

11月10日	庫裡、会館窓等雪囲い	大桃新大工
12月11日	境内植木雪囲い	磐梯造園

行事予定

令和6年 1月	1日～3日	修正会・大般若転読
	3日	転読大般若・檀頭新年初顔合わせ
	4日～9日	壇中御年始廻り 1月9日 福島市・伊達市他
	10日	大般若理趣分 大塩長泉寺檀頭初顔合わせ
	16日	檀信徒年始受け
2月	5日	曹洞宗宗務所現職研修
	8日	S Z I 総会 曹洞宗会館 (東京)
3月	15日	涅槃会・護持会年次総会 午前10時予定 ※3月15日に固定したが日曜日に重なった場合は翌日に繰り越す。

年始廻り日程表 (お札をお受けする際には、お盆を用意してお受け下さい)

1月4日	伯父ヶ倉・川桁・白木城・小水沢・樋ノ口	1月7日	市沢・蒲谷地・渋谷・長坂・川上・秋元・千貫・裏磐梯
1月5日	小田・名家・酸川野・田茂沢・川桁	1月9日	法類寺御年始廻り
1月6日	木地小屋・大原・沼尻駅前・湯川端・中ノ沢・沼尻・横向	1月10日	大塩長泉寺御年始

理事長新年ご挨拶

檀信徒皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、天徳寺護持会の運営につきましては、檀頭各位をはじめ皆様方のご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

さて、私事となりますが、一昨年の護持会総会において、任期満了による役員改選にて理事長に選出され、任職はじめ事務局理事役員はもとより檀頭各位、檀家皆様の御協力御理解を賜りどうか責務を全うさせていただきます。今後とも更なる御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年5月には新型コロナウイルス感染症の緊急事態も緩和されコロナ禍以前の状態に戻すべく、行事イベントの復活、マスク着用の義務解除、海外からの入国制限撤廃と以前の活気を取り戻しつつあります。

しかし、完全にウイルスが消滅したわけでもなくまだ、予防処置は必要であるかと存じます。

また、昨年十一月には念願であった庫裡と檀信徒会館の渡り廊下を設置でき、いちいち外をまわることもなく、四季を通じて天候に左右されず往来が可能となり大変便利になりました。同月二十三日の檀頭会感謝祭の折には、檀頭さん方による落慶法要、渡り初めをしていただきました。尚、今回の建設に当たっては、総工費約六百万円の内、護持会基金一部と農協保険の積立、住職より百万円の援助を戴き佐藤建匠様との契約で無事完工の運びとなりました。それぞれの御協力に対し深く感謝申し上げます。

更には、会報でも紹介させて頂きましたが、郡山市在住の大塚節夫様には毎年多年わたり、山内環境整備資金として多額の浄財をご寄付頂いております。この紙面をお借りし護持会代表して御礼申し上げます。

天徳寺におきましては、駐車場、本堂、檀信徒会館と整備充実が計られ大変喜ばしい限りです。

結びになりますが、皆様のご健勝ご多幸を御祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

天徳寺護持会 理事長 増子次郎 合掌

持志寄進者

・山内整備
郡山市 大塚節夫 殿
毎年5月に仏様にと欠かさず多額の御志納いただいています。

・本堂スロープ並びに車椅子一台
當山20世寺族 細川道子 殿

寄進者芳名

感謝祭寄進者芳名報告 (敬称略)

- ・もち米 小水沢：古川一男、樋ノ口：増子次郎、大桃時夫・千恵
- ・新米 小田：鈴木基司、渡部シン子、大塩：遠藤裕子
- ・野菜 伯父ヶ倉：阿部俊一、小水沢：遠藤尚保、長坂：磯谷トキ子、町内：五十嵐スミ子
- ・青豆 田茂沢：二瓶繁一
- ・果物 蛇平：渡部哲夫
- ・漬物 小水沢：阿部清美
- ・お菓子他 天徳寺：寺族



□ 毎月(1月・8月・12月を除く)、第二水曜日午後1時半より檀信徒会館にて開催されている写経を学ぶ会もコロナ影響も無くなり会員の皆様多数集り、

